岐南中学校　国語科　第二学年　「生物が記録する科学」第三回学習プリント

生物が記録する科学ーバイオロギング可能性　三時間目

佐藤克文

課題　本文の内容を確認し、序論(話題提示)・本論(具体的な説明)・結論(まとめ)に分けよう。

《学習の流れ》
①本文を読み、ワークシートの内容欄の空欄に入る言葉を考えよう。
②ワークシートの補足欄をみて、三つの質問に答えよう。
③ワークシートの一番上の欄に、どこまでが序論・本論・結論なのか線を引き、三つに分けよう。

	段落	内容	補足
序論	①～②	ここは南極、歩いているのは「　　」 問い「　　」 しかし、詳しく観察するのは不可能。	☆「バイオロギング」って具体的に何？
本論	③～④	そこでユニークな方法を編み出した。 「生物が記録する」という意味で「　　」	
	⑤	調査開始。 問い「　　」	
	⑥～⑦	結果ほとんどの潜水が二十メートルより浅い。 問い「　　」	☆なんで効率がいいの？
	⑧	問い「　　」	
	⑨～⑩	結果ほとんどの潜水が六分以内で終了。 問い「　　」	
	⑪～⑫	結果六分以内の潜水の場合、すぐに次の潜水を開始できる。 考察短い潜水を数多く繰り返した方が「　　」	
	⑬	もう一つ、ペンギンの興味深い行動がある。 問い「　　」	☆「このような行動」って何？
	⑭	群れの三羽に深度記録計を取り付けてみた。 結果三羽が「　　」餌をとっている。 問い「　　」	
	⑮	結果あるとき、ペンギンが飛び出してきた直後にウェッデルアザラシが。 考察潜水時間を合わせるのは「　　」ため。」	
	⑯	野生のペンギンは「　　」をこらしている。	
結論	⑰～⑱	「バイオロギング」は動物の「　　」を調べることを可能にした。 そして、さまざまな動物の「　　」が集められている。 動物たちのデータは、「　　」	